

平成30年度 第1回 木曾川水系流域委員会

【木曾川 ^{おこし}起・^{このぶなかしま}小信中島地区の堤防整備事業】

平成30年6月26日

国土交通省 中部地方整備局

木曾川上流河川事務所、木曾川下流河川事務所

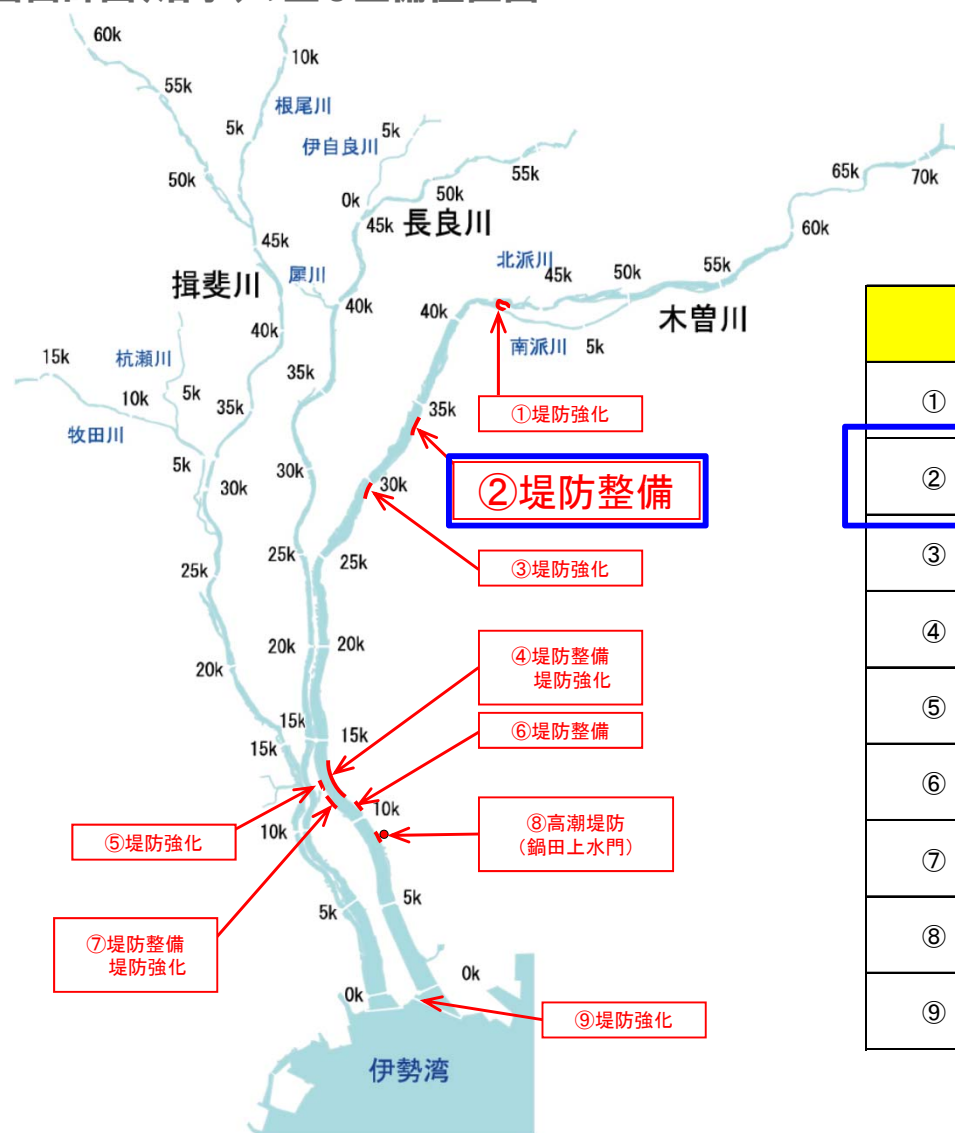
2. 評価の視点

3) 当面の段階的整備

木曾川における当面(概ね5年:H30~H34)の整備は、昭和58年9月洪水を安全に流下させるため、主に中下流部の堤防整備、堤防強化、耐震対策等を実施する予定です。

これらの整備に要する総費用(C)は約101億円であり、これらの整備によりもたらされる総便益(B)は約127億円となるため、費用対便益比(B/C)は1.3となります。

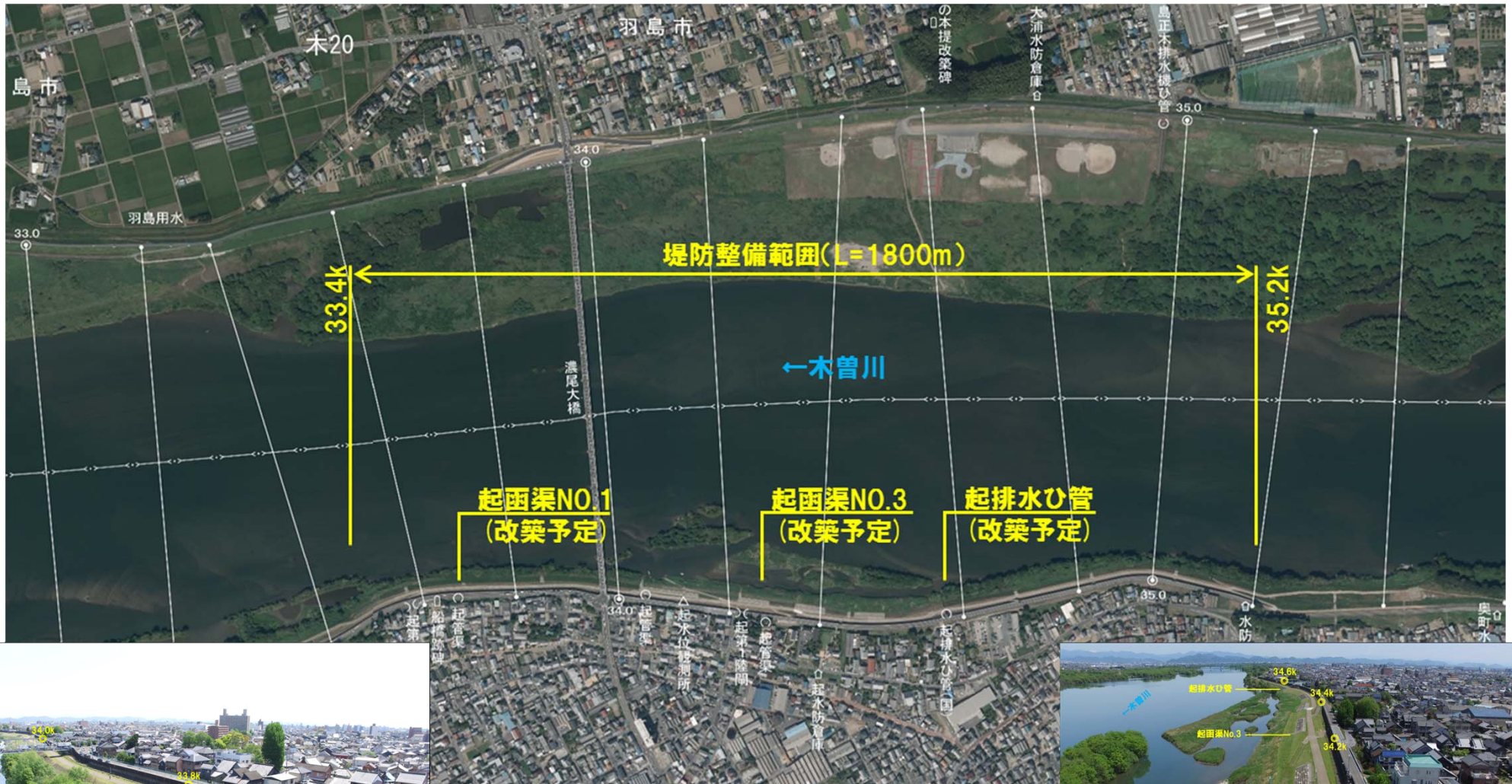
当面計画(治水)の主な整備位置図



平成29年12月27日
第5回 木曾川水系流域委員会
資料に一部加筆

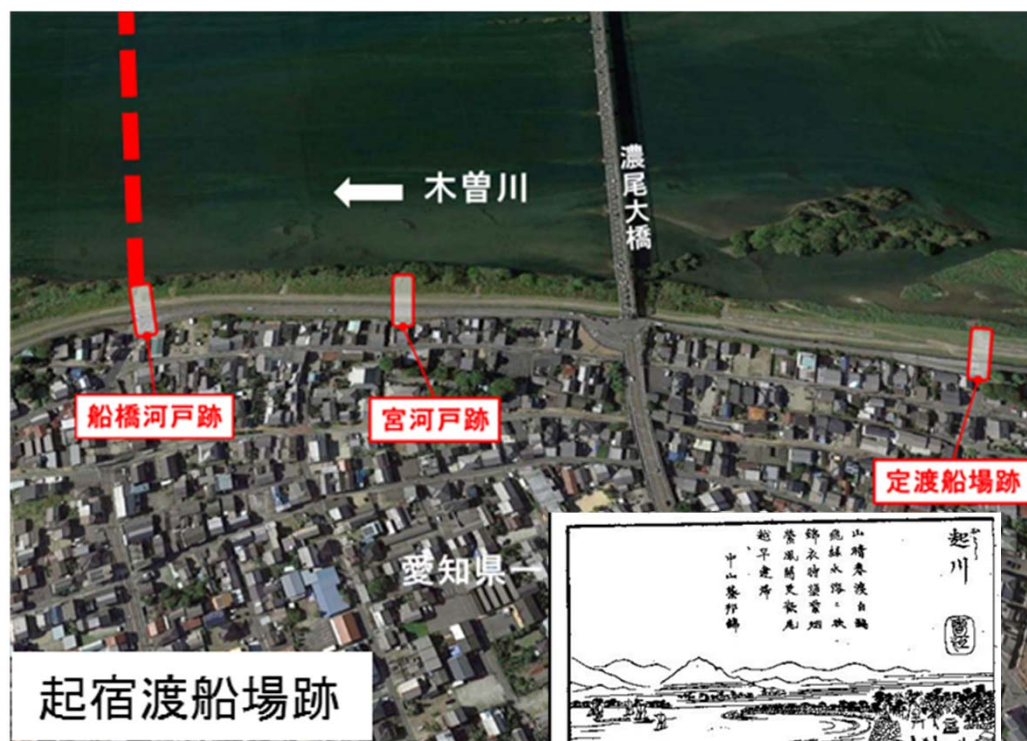
整備内容	地区名	着手	完了	
①	堤防強化	松原地区	平成23年度	平成33年度以降完成予定
②	堤防整備	起地区	平成29年度	平成33年度以降完成予定
③	堤防強化	拾町野地区	平成28年度	平成30年度完成予定
④	堤防整備、堤防強化	森川地区	平成29年度	平成32年度完成予定
⑤	堤防強化	福原新田地区	未着手	平成32年度完成予定
⑥	堤防整備	立田地区	平成20年度	平成32年度完成予定
⑦	堤防整備、堤防強化	小島地区	平成24年度	平成32年度完成予定
⑧	高潮堤防 (鍋田上水門)	前ヶ須地区	平成25年度	平成32年度完成予定
⑨	堤防強化	鎌ヶ池地区	平成28年度	平成33年度以降完成予定

○木曾川左岸(愛知県一宮市)のパラペット堤防区間約1800mについて、堤防断面を確保予定。



美濃路と起宿

- 美濃路は、東海道の宮宿(名古屋市熱田区)から分かれ、中山道垂井宿(岐阜県垂井町)に至る全長14里余(約55km)の街道。
- 東海道の難所である「七里の渡し」を避けることができるが、美濃四川(現在の木曾三川とその支流)を渡河する必要があった。
- 起地区は、旧美濃路の宿場町「起宿」として栄え、渡船場の跡が今に残る。

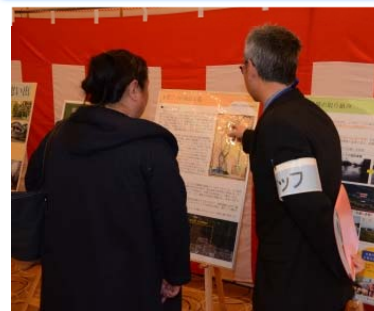


江戸時代の起宿

○平成29年12月9日、起・小信中島地区堤防整備事業の着工式を開催。

日時 : 平成29年12月9日(土)10:30~12:30
場所 : 愛知県一宮市富田字砂原地先 (尾西グリーンプラザ)
主催 : 『起・小信中島堤防整備事業』着工式実行委員会
愛知県、一宮市、木曾川上流河川事務所
来場者 : 一宮市長、地元選出国會議員 他 約200名
式典概要 : 式辞、挨拶、工事概要説明、鍬入れ式等

セレモニー



木曾川の地域との関わりや
事業等のパネル展示



現在、そして将来のこと
も考えて、ますます
親しみやすい木曾川
を残せるよう、安全で
安心な堤防を造って
もらえればうれしい限
りです。

地元からの感謝のこぼ
(地域代表区長)



来賓挨拶
長坂 康正 衆議院議員



来賓挨拶
足立 敏之 参議院議員



来賓挨拶
岡本 充功 衆議院議員



鍬入れ式



挨拶
中野 正康 一宮市長



式辞
塚原 中部地方整備局長

記念イベント



式典終了後、地元の木曾川高校プラスバンド部の演奏披露